



平成29年度 安全だより

いつもこころに

大河原中学校 HP <http://ogawara-k.miyagi.jp/daichu/>

第 3 号

平成29年 8月29日

文責：主幹教諭（安全）

石川 男哉

雷にご注意ください！

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。大きな事故等がなく過ごせたことは良かったのですが、雨続きですっきりとしない夏休みとなってしまいました。このような年は、夏休みが終わったとたんに猛暑になることがあります。生徒の皆さんは体調を崩すことがないように、早寝・早起き・朝ご飯・適切な運動、規則的な生活を送るようにしてほしいと思います。ご家庭でもお声をよろしく願います。

さて、先週は関東地方などで、激しい落雷をともなう雨が降りました。今後、大河原町周辺でも起こらないとは限りません。今回は、雷に関する情報をお知らせします。



雷による災害

雷は、積乱雲の位置次第で、海面、平野、山岳など場所を選ばず落ちます。また、周囲より高いものほど落ちやすいという特徴があります。グラウンド、平地、山頂、尾根等の周囲の開けた場所にいますと、積乱雲から直接人体に落雷（「直撃雷」といいます）することがあり、直撃雷を受けると約8割の人が死亡します。

また、落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人体へ雷が飛び移ることがあります（「側撃雷」といいます）。木の下で雨宿りなどをしていて死傷する事故は、ほとんどがこの側撃雷が原因です。

遠くで雷の音がしたら、すでに危険な状況です。自分のいる場所にいつ落雷してもおかしくありません。

雷に遭遇した場合は安全な空間へ避難

雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳などところを選ばずに落ちます。近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところなどでは、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く安全な空間に避難して下さい。

鉄筋コンクリート建築、自動車（オープンカーは不可）、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れれば更に安全です。
<気象庁ホームページから>

また、**人体は同じ高さの金属像と同様に落雷を誘引するものであり、たとえ身体に付けた金属を外したり、ゴム長靴やレインコート等の絶縁物を身に着けていても、落雷を阻止する効果はない**そうです。

「まさか自分には落ちないだろう」と思っている、それは何の根拠もありません。実際に落雷によって命を落とす場合もあります。外で活動する場合や、登下校中は気をつけてほしいと思います。